

平成23年度京都大学グローバルCOEプログラム「アジア・メガシティの人間安全保障工学拠点」シンポジウム

# 社会の安全と人間安全保障の 新しいパラダイムを考える —東日本大震災の教訓から—

Exploring New Paradigms of Social Safety and Human Security: Lessons Learned from the Great East Japan Earthquake and Tsunami

## 11/22 キャンパスプラザ京都 5階 第1講義室

火曜日 9:30~17:00 (受付開始 9:15~)

主催：京都大学グローバルCOEプログラム「アジア・メガシティの人間安全保障工学拠点」

共催：京都大学防災研究所

後援：読売新聞大阪本社、(公財)京都文化交流コンベンションビューロー

参加費  
無料

定員  
250名

### オープニング

**基調講演** 「社会の安全と人間安全保障を目指した災害ガバナンスの実現に向けて」  
陳 亮全 (台湾国国家災害防救科技センター長、国立台湾大学教授)

### 第1部 「東日本大震災からの教訓」

- 研究報告**
- 高橋 良和 (防災研究所 准教授、耐震構造)
  - 平山 修久 (工学研究科 特定准教授、災害環境工学)
  - 米山 望 (防災研究所 准教授、3次元流体解析)
  - 神吉 紀世子 (工学研究科 教授、都市計画)
  - 矢守 克也 (防災研究所 教授、防災心理学)
  - 清野 純史 (工学研究科 教授、地震工学)
  - 畑山 満則 (防災研究所 准教授、防災情報論)

### 第2部 基調講演「アジアにおける巨大災害からの復興」

**基調講演** 「東日本大震災を経験してのメッセージ」  
菅原 茂 (宮城県気仙沼市 市長)

**基調講演** 「アチェから世界へ：津波からの教訓」  
ハニフ・アリエ (インドネシア大統領府開発管理調整ユニット・副長官)

### 第3部 パネルディスカッション「新しい安全の質を考える」

- **司 会** 多々納 裕一 (京都大学防災研究所 教授)
- **パネリスト** 齋藤 富雄 (兵庫県 初代防災監)
- 宇恵 元昭 (和歌山県 危機管理監)
- 菅原 茂 (宮城県気仙沼市 市長)
- ショウ・ラジブ (京都大学大学院地球環境学堂 准教授)

※講演者、講演内容などは事前の予告なく変更することがございます。

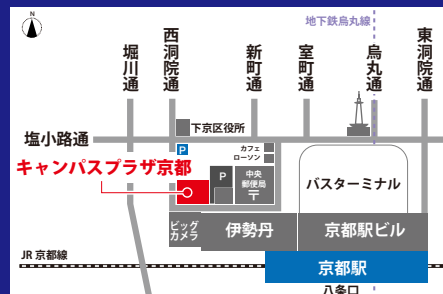
### 申込事前登録制 定員 250名先着順 (残席がある場合は、当日参加受付可能)

参加希望者は「シンポジウム申込」と明記の上、ご氏名、ご所属、ご連絡先(E-mailアドレス、電話番号)を事前に、下記の宛先にメールまたはファックスでお送りください。又、シンポジウムウェブサイト(<http://hse.gcoe.kyoto-u.ac.jp/11gcoehse/hpj/index.html>)からも参加登録ができます。

申込締切：平成23年11月20日(日) ※定員になり次第受付終了と致します。

問合せ先：京都大学グローバルCOEプログラム「アジア・メガシティの人間安全保障工学拠点」  
シンポジウム事務局 Tel: 075-383-3417

宛 先：(E-mail) [11gcoehse@hse.gcoe.kyoto-u.ac.jp](mailto:11gcoehse@hse.gcoe.kyoto-u.ac.jp) (FAX) 075-383-3418



# 講演者等プロフィール

## 研究報告



### 高橋 良和「東日本大震災の地震動の特徴と道路・鉄道構造物の被害」(京都大学防災研究所 准教授)

京都大学大学院工学研究科修士課程修了(土木工学)。博士(工学)。京都大学工学研究科を経て、現在、京都大学防災研究所・地震災害研究部門・准教授。日本学術会議特任連携会員を併任。専門は耐震構造、コンクリート構造。



### 米山 望「大震災の教訓を生かした津波氾濫被害予測手法」(京都大学防災研究所 准教授)

平成4年3月に京都大学大学院工学研究科土木工学専攻修了後、電力中央研究所研究員を経て平成17年4月に京都大学防災研究所に採用され現在に至る。専門は、自由水面を有する流れの3次元数値シミュレーション。



### 矢守 克也「津波避難情報と避難行動」(京都大学防災研究所 教授)

大阪大学大学院人間科学研究科博士課程単位取得退学。博士(人間科学)。現在、京都大学防災研究所・巨大災害研究センター・教授。同阿武山観測所・教授、京都大学大学院情報学研究科・教授を兼任。専門は、社会心理学、防災心理学。



### 畑山 満則「東日本大震災における情報共有とICT」(京都大学防災研究所 准教授)

平成12年東京工業大学大学院総合理工学研究科博士後期課程修了。博士(工学)。平成19年より京都大学防災研究所准教授。情報システムを用いた災害対応に関する研究に従事。土木学会、情報処理学会などの会員。専門は、防災情報論、空間情報学。



### 平山 修久「津波災害と災害廃棄物マネジメントについて」(京都大学大学院工学研究科 都市環境工学専攻 特定准教授)

京都大学大学院工学研究科博士後期課程修了(環境工学)。平成16年3月博士(工学)。平成16年4月財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構人と防災未来センター主任研究員。平成20年12月より現職。専門は水道工学、危機管理、災害環境工学。



### 神吉 紀世子「都市・集落空間の形成履歴から今後を考える」(京都大学大学院工学研究科 建築学専攻 教授)

京都大学大学院工学研究科修士課程修了(建築学第二専攻)。博士(工学)。現在、京都大学工学研究科建築学専攻・教授。京都大学GCOEプログラム「アジア・メガシティの人間安全保障工学拠点」では、都市ガバナンス研究領域の研究分担者。専門は、都市計画、農村計画、文化的景観保全。



### 清野 純史「地震時の人的被害低減に向けて」(京都大学大学院工学研究科 都市社会工学専攻 教授)

京都大学大学院工学研究科修士課程修了(土木工学)。博士(工学)。現在、京都大学工学研究科・都市社会工学専攻・地震ライフライン工学講座・教授。京都大学GCOEプログラム「アジア・メガシティの人間安全保障工学拠点」ではインドネシアの都市災害における人間被害の低減戦略に関する研究を担当。専門は、地震工学。

## パネルディスカッション



### 司会：多々納 裕一(京都大学防災研究所 教授)

京都大学大学院工学研究科修士課程修了(土木工学)。博士(工学)。現在、京都大学防災研究所・社会防災研究部門・教授。京都大学GCOEプログラム「アジア・メガシティの人間安全保障工学拠点」では、災害リスク研究領域のリーダーを担当。専門は、災害リスク管理論、防災経済学。



### 齋藤 富雄(兵庫県 初代防災監)

関西大学法学部卒。平成8年4月に兵庫県の危機管理全般を統括する初代の防災監に就任。阪神・淡路大震災の教訓を生かした防災対策の充実に努めるとともに、多くの緊急事態を指揮。平成13年9月より平成21年9月まで兵庫県副知事。現在は、(公財)兵庫県国際交流協会理事長。



### 宇恵 元昭(和歌山県 危機管理監)

和歌山県農業大学校卒業、昭和48年和歌山県採用、その後企画部総合交通政策課関西国際空港対策室長、企画部人権施策推進課長等を歴任、平成21年企画部人権局長、現在は和歌山県危機管理監。紀伊半島大水害では県災害対策本部副本部長として指揮。



### 菅原 茂(宮城県気仙沼市 市長)

気仙沼市出身。東京水産大学(現東京海洋大学)卒業後、(株)トーメン入社。オランダ駐在を経て、気仙沼に戻り、(株)菅長水産入社。平成19年衆議院議員小野寺五典事務所勤務、平成21年公設第一秘書。平成22年4月より現職。東日本大震災後、気仙沼の復旧、復興に挺身。



### ショウ・ラジブ(京都大学大学院地球環境学 准教授)

大阪市立大学大学院博士課程修了。国連地域開発センター研究員を経て、2004年より現職。専門は国際環境防災マネジメント。国連国際防災戦略(UN ISDR)アジア都市防災委員会議長。

## 参加申込み(先着順)

京都大学 GCOE「アジア・メガシティの人間安全保障工学拠点」シンポジウム事務局宛 TEL075-383-3417

■申込期限 平成23年11月20日(日) 定員250名先着順(残席がある場合は、当日参加受付可能)

メールの方 11gcoehse@hse.gcoe.kyoto-u.ac.jp

下記の内容をお送り下さい。

FAXの方 075-383-3418

本申込書をそのまま送信下さい。

HPの方

<http://hse.gcoe.kyoto-u.ac.jp/11gcoehse/hpj/index.html>

参加申込フォームからお申込み下さい。

FAX用申込書

分類 (あてはまるものにチェックをお願いします)  一般  官公庁  大学  研究機関  学生  その他

ふりがな  
お名前

ご所属

メール

TEL(任意)

※ご記入いただいた個人情報は、当シンポジウムの参加確認のために使用するものであり、これ以外の目的には使用いたしません。